

## 【 現行の農業・農村基本計画における8つの『展開方向』ごとの主な課題 】

## 1) 県産農産物の確保

- ・「おいでまい」の「特A」品質を維持した生産拡大と需要拡大、多様な水稲の生産拡大等
- ・「さぬきの夢」の生産量確保に向けた管理技術の改良や担い手への支援策の強化等
- ・生産調整など国の米政策の見直しへの対応
- ・県産農産物の県内流通量を増加させる仕組みの構築

## 2) 食の安全への対応

- ・GAPの取組拡大やトレーサビリティ制度等の普及
- ・家畜伝染病に迅速に対応できる体制の整備

## 3) 売れる農産物づくり

- ・産地間競争に勝ち抜く魅力あるオリジナル品種の育種や新たな技術の開発等の加速化
- ・「さぬき讚フルーツ」の生産拡大とブランド力の強化
- ・全国をリードするオリーブ産地の地位を維持するための生産拡大やブランド力の強化
- ・オリーブ牛に続く特色ある畜産物の開発とブランド化
- ・規模拡大を促進する作業支援体制の充実・強化
- ・消費者の購買意欲を喚起するための取組強化

## 4) 戦略的な流通・販売

- ・実需者ニーズに即した加工・業務用青果物の生産と安定出荷体制の構築
- ・輸出農産物の拡大と定番化・定着化
- ・6次産業化の面的取組みの促進
- ・県オリジナル農産物のブランド力の強化
- ・食品の機能性や地理的表示制度等の活用

## 5) 担い手の確保・育成

- ・国の農政改革を踏まえた担い手の育成
- ・TPPやEPAを見据え、国内外の産地間競争に打ち勝つ力強い経営体を育成
- ・新規就農を促進・定着させるための生活面も含めた一貫したサポート体制の整備
- ・担い手の経営発展を支援するための作業支援体制の充実・強化
- ・地域を支える集落営農の推進や女性の活躍推進

## 6) 生産条件の整備

- ・農業委員会等の改革を踏まえた優良農地の確保
- ・農地中間管理機構の活用による担い手への農地集積の促進
- ・担い手のニーズや中山間地域の特色を生かした生産基盤の整備の促進
- ・ため池や水路などの計画的な整備

## 7) 多面的機能の維持

- ・農業者や地域住民の協働による保全活動の取組促進と対策の強化
- ・環境に配慮した計画的な農業集落排水施設の整備
- ・耕作放棄地の未然防止と解消・再生利用に向けた取組みの促進
- ・鳥獣害に対する集落ぐるみによる環境整備や猟友会と連携した捕獲活動の強化

## 8) 地域資源を活用した農村の活性化

- ・人口減少社会を踏まえて、農村の特徴ある地域資源を生かして、教育や保健など多様な機能に着目した新たな交流需要の創出
- ・バイオマスなど有機性資源の循環利用や再生エネルギー法を踏まえた取組みの促進

## &lt;ポイント&gt;



食のリスク管理や家畜防疫体制の強化による食の安全と消費者の信頼・安心の確保

産地間競争を勝ち抜く魅力ある品種・産品や新たな技術の開発・導入、消費者ニーズを踏まえた生産振興、担い手の規模拡大を支える作業支援体制の充実など、県産農産物の一層の生産拡大に向けた取組みを強化する必要

新たな表示制度や知的財産の活用等によるブランド力の強化と、戦略的なPR活動による県内外・海外の需要(販路)を拡大する必要

国内外の産地間競争に打ち勝つ力強い経営体を育成する必要

新規就農者は増加しているが、農業従事者の年齢構成は歪であり、若い世代の就農・定着を一層促進する必要

過疎化が進行する農村地域においては、地域農業や地域社会を支える担い手(リーダー)を確保

担い手ニーズを踏まえた計画的な生産基盤の整備と水利施設等の強靱化を実施する必要

人口減少社会において、今後も継続して生産基盤を維持・管理できる仕組みづくりや鳥獣害への抜本的な対応が急務

地方創生に向けて、地域へ人を呼び込む活力ある農村づくりを推進する必要